



ESP LTD Alexi-200 EMG F-ALXの交換

ABQ EQ/ブースト付きALXは、新しいアレキシ・ライホのシグネチャーモデルで、新しく設計されたEMG HZパッシブモデルです。これには新型のプッシュ（オン）/プル（オフ）コントロール方式のABQ EQ/ブーストが組み込まれています。

作成者: [deleted]



はじめに

これからABQブースト付きEMG ALX ハムバッカーをESPアレキシ・ライホモデルのギターに取り付ける方法を紹介します



ツール:

- [Large Needle Nose Pliers](#) (1)
- [Screwdriver](#) (1)
- [はんだ](#) (1)
- [半田付けステーション](#) (1)



部品:

- [Cable for pickup installation](#) (1)

手順 1 — EMG F-ALX



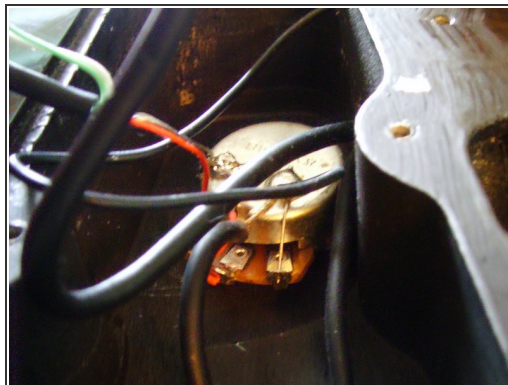
- これが新しいEMG F-ALXとこれを取り付けるギターです。
 - ① 「F」とはフロイドローズを意味します。
 - ① この時点では、ESP EMGパッシブハムバッカー (ESPのLTDギター標準ピックアップ) が搭載されています。

手順 2



- ここで中身を紹介します。実際にはケーブルが1本欠けていますが、そのことは後程触れます。
- このガイドは、ただ作業を説明することを目的としています。どのケーブルをいつ使用するかに関する正確な情報については、EMGの説明書も参照してみるといいかも知れません。

手順 3



- まずはギターの弦を取り外します。
- 次に、ギターに取り付けられている電子部品をすべて取り外す必要があります。単純にポットについているケーブルを切るだけです。

手順 4



- すべて切り終わったら、これらを取り出します。出力ジャックのねじ、ピックアップ、ポットを取り外す必要があります。これで「裸」のギターとなります。

手順 5



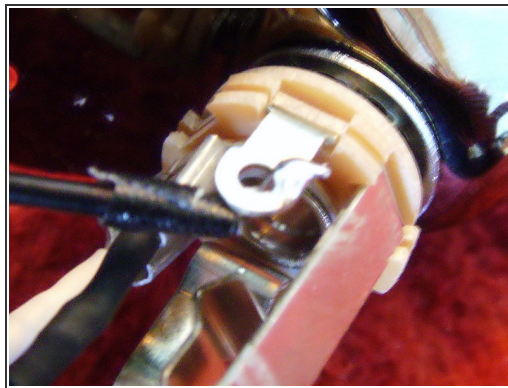
- ここではポットを取り出し、ワイヤも・・・ああ、EMGの説明書に書いてあった緑色のケーブルはどこから来ているのでしょうか。実のところ、行方が分かりません。
- しかし、これは大したことはありません。見つかった任意のケーブルを手に取り、緑のケーブルであったかのように振舞います。これは他とは異なり、特殊なコネクタがない唯一のケーブルだからです。
- 緑色のケーブルを紛失しただけでなく、出力ジャックの穴を通して引き回す必要がある2番目のケーブルが短いのです。これもまた問題にはなりません。ケーブルを真ん中でカットし、とりあえずギターの中にあった古い出力ケーブルを取り出して、はんだ付けすれば、出力ジャックに十分届くケーブルが出来上がります。
- 私の場合は、単純にはんだ付けの接点を粘着テープで絶縁しました。

手順 6



- ギターのボディを經由してケーブルを引っ張ります。

手順 7



- 出力ジャックから取り外したケーブルを、新しい出力ジャックに接続します。探さざるを得なかった例の緑色のケーブルをはんだ付けする必要があります。これには金属コネクタがないからです。写真2を参照してください。
- 出力ジャックプレートをボディにしっかりとねじ止めします。いい感じじゃないですか？

手順 8



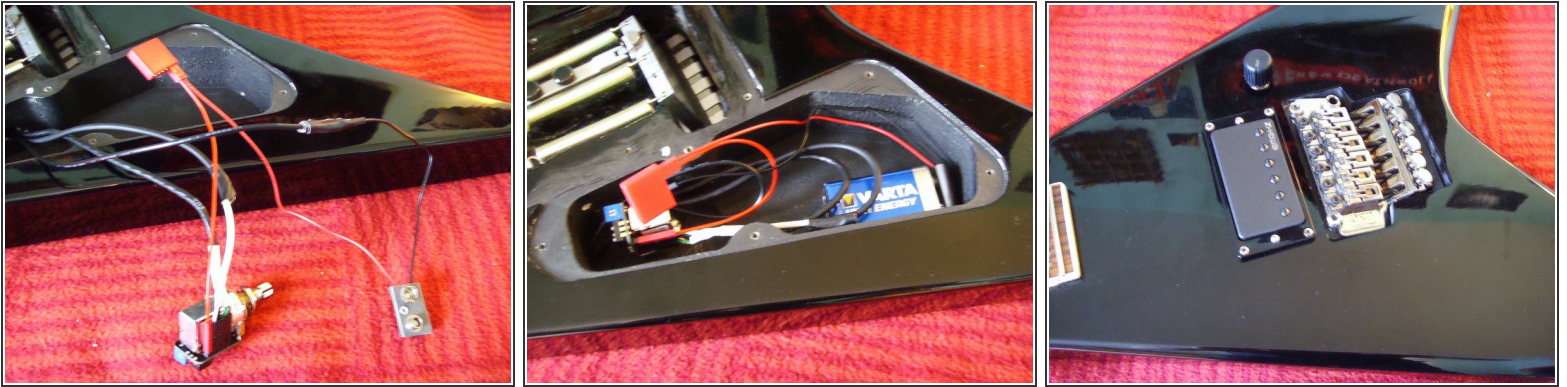
- ここでハムバッカーのケーブルを、ピックアップのクイックコネクタに接続する必要があります。
- ハムバッカーのフレームをはめ、2本のスプリングも正しいねじで取り付けます。

手順 9



- ハムバッカーのケーブルを、キャビティにつながる穴に差し込みます。
- 実際のところ、この穴はケーブルを3本通すには小さすぎるため、これは少々難しい作業です。最初にハムバッカーのケーブルを通し、その直後に出力ケーブルを差し込みます。出力につながっている緑色のケーブルは最後に差し込みます。

手順 10



- これで説明書通りにすべてを接続しました。
- また緑色のケーブルをはんだ付けする必要があるのですが、これは簡単なのはんだ付けです。これも粘着テープで絶縁します。
- バッテリーはキャビティー内に収納できます。両面テープなどで固定します。
- あとはポットを取り付けて、ナットを締めるだけです。
- これで完成です。